

発行 日本労働組合総連合会岩手県連合会
(連合岩手) 発行人 八幡 博文

〒020-0024 岩手県盛岡市菜園一丁目3番6号
TEL (019) 625-5505 FAX (019) 623-1105
印刷 川口印刷工業(株)

働く者が連帯し 「安心社会」への扉を切り拓こう

10月24日 連合岩手第27回定期大会を開催

大会であいさつする豊巻会長



連合岩手は、10月24日（土）盛岡市・ホテルニューカーリーナで第27回定期大会を開催しました。

大会議長団に自動車総連・千田忠弘代議員、岩教組・佐藤工代議員を選出した後、執行部を代表して豊巻会長があいさつ、「働くことを軸とする安心社会の実現に取り組もう」と訴えました。

続いて、連合・木村裕士副事務局長、達増拓也岩手県知事、盛岡市・志賀達哉商工観光部長、労福協・砂金文昭副会長（労金岩手県本部長）、民主党岩手県総支部連合会・黄川田徹代表、社民党

岩手県連合・小西和子代表、高齢者・退職者連合会・高橋貢雄会長からご祝辞をいただきました。

報告・議事では、自治労・野中靖志代議員、JR総連・永田泰明代議員、岩教組・金田一文紀代議員、高教組・藤澤健代議員から補強する発言があり、2016-2017年度運動方針をはじめとするすべての報告・議案が承認されました。

その後、新役員選出、退任役員あいさつ、大会アピール採択を行い、豊巻会長による団結ガンバローで大会を閉じました。



「働くことを軸とする安心社会」の実現に 新たな一歩を踏み出そう

会長あいさつ

連合岩手 会長 豊巻浩也

連合岩手第27回定期大会に、県内各地から代議員・特別代議員・傍聴者の皆さんにご出席いただきました。大変ご苦勞様です。また、連合運動に深いご理解とご協力をいただいておりますご来賓の方々においでいただいております。連合本部から木村裕士副事務局長、岩手県・達増拓也知事、盛岡市・志賀達哉商工観光部長、県内労働福祉団体の本部長・理事長のみなさん、民主党・社民党の県代表の方々、退職者連合の高橋貢雄会長、私たち連合岩手の運動前進のために引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

2015年、今年の通常国会は、私たちの国の将来に暗雲を漂わせました。

その一つは、雇用の安定や処遇改善を求める働く人々の願いを踏みにじり、強引に「労働者派遣法」が改悪されたことです。使用者の恣意的な解釈・運用によっては、不安定雇用が生涯続くという可能性を高めるもので、格差の固定化にもつながります。職場における点検・摘発や相談活動でその実態や課題を明らかにし、不安定で低処遇な派遣労働が広がることを止め、すべての働く仲間に「働きがいのある人間らしい仕事（＝ディーセント・ワーク）」を連合は求めます。

そして二つ目の暗雲は、「安全保障関連法」です。安倍内閣の一方的な憲法解釈により法案が提出され、多くの国民が憲法違反との危惧の念を抱きましたが、与党は数の力で強引に押し通しました。立憲主義・民主主義・平和主義に対する暴挙は、歴史の大きな汚点です。戦後70年、日本は武力に頼らない国際貢献を続けて「平和国家」として歩んできましたが、戦争に加担することや他国からの攻撃を受けるリスクが高まっています。安倍首相の言う「積極的平和主義」は「アベノリスク」として、平和が脅かされるのではないかという懸念が多くの国民に広がっています。

この国会期間中、岩手では春から秋にかけて、統一地方選挙が行われました。「働く者・生活者」の視点に立った地域の政治勢力の拡大をはかること、そして「安保法制反対」への重要な取り組みでした。本日おいでの達増知事をはじめとして、29人の連合岩手推薦候補者の当選を勝ち取り、県議会においては「反自民」の砦を築くことができました。ここに希望の光を見出しています。構成組織・地域協議会の健闘をお互いに讃えあいたいと

思います。しかし、投票率が低迷していることは大きな課題です。政治をより身近にするための学習をさらに深め、来年夏の参議院選挙においては、「暴走する安倍政権」を止めるために比例区組織内候補者の勝利をめざします。また、参院選岩手選挙区においては、反自民の野党連携を模索します。

今年の春季生活闘争では、2年連続で賃上げを勝ち取ることができたものの、物価上昇等で可処分所得は減り、働く者の暮らしは依然として厳しい感があります。統計によると非正規雇用労働者が増えており、格差も拡大しています。私たち連合は、「ストップ ザ 格差社会！」を掲げており、すべての働く者を連合の仲間の輪へ結集し、連帯する必要があります。2016年春季生活闘争は、継続した賃上げと格差是正に向け、取り組みを強化します。

今年、連合岩手は岩手大学との提携講座を開設し、働くことの意味や願いを学生と交流することができました。若者の未来に希望を見出すことは、今を生きている私たちの責務でもあります。働く現場に連合の運動を広げ、すべての働く仲間の輪と夢を広げ、社会に希望の見える運動を展開していきましょう。

東日本大震災から4年7か月が経過しました。被災者の生活再建は思うように進んでいません。心のケアも重要な課題となっています。被災地は、復興へ歩み続けていますが、労働力不足により復旧工事の遅れが深刻化しています。公共事業に携わる作業員の労働条件を適正に保ち、復旧事業の品質を確保するためにも今年3月に県議会で制定された「公契約条例」の運用は大きな課題の一つです。私たち連合岩手も復興に向け力を合わせたいと思います。

連合が発足し、26年が経過しました。社会の不条理に立ち向かい、すべての働く仲間が連帯できる組織となる必要があります。「未組織や非正規労働者との共闘」「顔の見える運動をすすめる地域協議会」「福祉団体との連携による暮らしサポート」「政策実現に向けた政治活動の強化」「組織拡大による1000万連合の実現」など多くの課題が山積しています。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合運動前進に向け、新たな一歩を踏み出す第27回定期大会になることを願い、挨拶いたします。



自治労・野中代議員は、成立後の「安保関連法」廃案に向けての取り組み強化について発言。



JR 総連・永田代議員は、「安保関連法案」反対行動の総括と今後の運動について発言。



岩教組・金田一代議員は震災復興の現状・課題と今後の取り組みについて発言。



高教組・藤澤代議員は、奨学金問題についての現状と今後の取り組みについて発言。

2016-2017年度運動方針(抜粋)

【スローガン】

すべての働く者を連合の仲間の輪へ いまこそ働く者が連帯し「安心社会」への扉を切り拓こう

【今後2年間の運動の基軸】

◎「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた 総掛かりの運動

1. 総掛かりの開かれた取り組みによる底上げ・底支えの実現に取り組む～働く者の暮らしの底上げを起点とする好循環を継続的にまわしていこう～
2. 働かせる側の論理で生活時間を奪い雇用の質を劣化させてきた流れを反転させる運動を構築する～すべての働くものにディーセント・ワークを～
3. よい社会をつくるため、志を同じくする組織・人と連携し、自らが行動する～支えあい・助け合いの運動を通じ、市場万能・短期利益最優先の風潮を変えよう～
4. 人口減少・超少子高齢社会を長期的に展望し、労働運動が取り組むべき課題について検討する。

◎運動のパワーアップをはかるために

1. 組織力を強化する～「1000万連合」への加速、総対話活動、第4次男女平等参画推進計画など～
2. 内外における「発信力」を強化する～組織内への発信力強化、SNSやWebの活用など～
3. 「政策立案能力」を高める～人材育成、専門家とのネットワーク強化、関係団体との連携など～
4. 「政策実現力」を高める～労働組合の社会的責任として政治活動に取り組む、「生活者・働く者」の立場に立った社会的対抗軸の構築を図る～

【各論】

1. 「1000万連合」に向けた組織拡大・強化の着実な実践と連帯活動の推進による、社会的影響力のある労働運動の展開～集団的労使関係の構築と体制づくり、人材育成と労働教育強化など～
2. 非正規労働者・未組織労働者の組織化と処遇改善等に向けた運動の展開～「職場から始めよう運動」、労働相談活動と非正規労働C強化など～
3. 働くことを軸とする安心社会の構築に向けた政策・制度の取り組み～震災からの復興・再生、「政策制度要求と提言」と「重点政策」の実現など～
4. 労働条件の底上げと社会的横断化の促進とディーセントワークの実現～雇用創出に向けた運動強化、ワークルールの確立など
5. 男女平等社会の実現に向けた平等参画の強化
6. 政策実現に向けた政治活動の強化～選挙活動の推進、推薦首長・議員との連携など～
7. 国際活動への参加と取り組み

連合運動の先頭に立って

2016-2017新役員を選出

大会後に開かれた「躍進パーティー」でステージに並ぶ新役員



連合岩手 2016～2017 年度役員

会長	豊巻 浩也	(再・岩教組)
副会長	坂本 浩	(再・JR総連)
同 同	齋藤 健市	(再・自治労)
同 同	三浦 清	(再・情報労連)
同 同	石川 昌平	(新・U Aゼンセン)
同 同	千葉 清人	(新・自動車総連)
同 同	鈴木 圭	(新・電力総連)
事務局 長	八幡 博文	(再・情報労連)
副事務局 長	大槻 忍	(再・自治労)
同 同	原 利光	(新・JAM)
同 同	栗谷川 昌彦	(新・電力総連)
執行委員	高橋 克典	(再・岩教組)
同 同	高橋 清	(新・電機連合)
同 同	澤瀬 清巳	(再・高教組)
同 同	伊藤 洋	(再・JP労組)
同 同	千葉 秀幸	(新・JAM)
同 同	山岸 伸行	(再・運輸労連)
同 同	佐藤 浩之	(再・私鉄複合産別)
同 同	藤澤 互	(再・国公総連)
同 同	倉本 健	(新・基幹労連)
同 同	工藤 和男	(再・交通労連)
同 同	菊池 秀明	(新・フード連合)
同 同	千葉 賢一	(新・JEC連合)
同 同	三浦 洋子	(再・女性委員長)
同 同	小澤 豊和	(再・青年委員長)
会計監査	東 政芳	(新・全自交労連)
同 同	泉 雅之	(再・紙パ連合)
同 同	合 田 早貴子	(新・労金労組)

第27回定期大会の役員改選で11名の方々が退任されました。これまでのご労苦に感謝の意を表します。



退任された方々は次の通りです。

古門 賢一	さん	(副会長・U Aゼンセン)
菅野 健司	さん	(副会長・電機連合)
千葉 伸行	さん	(副会長・電力総連)
道又 富雄	さん	(副事務局長・連合岩手)
佐藤 茂生	さん	(副事務局長・電力総連)
本多 康浩	さん	(執行委員・JAM)
田中 謙司	さん	(執行委員・基幹労連)
笠原 忍	さん	(執行委員・フード連合)
森 茂	さん	(執行委員・全自交労連)
瀬川 通	さん	(会計監査・労金労組)
保坂 享	さん	(会計監査・林野労組)

「ディーセントワーク世界行動デー」の一環として定期大会参加者全員で **Decent Work For ALL** をアピール



「Decent Work For ALL」のチラシを掲げてアピール

みなさんは連合の運動方針に掲げられている「ディーセントワーク」という言葉を一度は聞いたことがあると思います。

ILOは「ディーセントワーク」の定義を「権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事で、全ての人が入入を得るのに十分な仕事があること」としています。日本語の定訳としては「働きがいのある人間らしい仕事」とされており、つまりは「労働者の権利の保障」「十分な収入」「適切な社会保護」「雇用の創出」

そういったものを大切にしたい仕事は「ディーセントワーク」なのです。

連合の加盟する国際労働組合総連合（ITUC）では10月7日を「ディーセントワーク世界行動デー」と定め、世界一斉行動の実施をよびかけており、連合は10月中に各地方連合会での行動を提起しました。

連合岩手では、連合の提起をふまえ、10月24日の第27回定期大会で全参加者で「すべての人たちにディーセントワークを」とアピールしました。



**火災はもちろん、台風・地震など
自然災害にも備えられる
「住まいと家財の保障」。**

全労済の
住まいる共済
火災・地震・台風・水害・盗難・火災

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済岩手県本部(岩手県労働者共済生活協同組合)

■ 盛岡支所	〒020-0026	盛岡市開運橋通1-1	TEL 019 - 622 - 0631
■ 北上支所	〒024-0061	北上市大通り2-11-23北上大通りビル1階	TEL 0197 - 65 - 0160
■ 一関支所	〒021-0031	一関市青葉1-8-20鈴木ビル1階	TEL 0191 - 26 - 2678
■ 釜石支所	〒026-0034	釜石市中妻町1-15-8	TEL 0193 - 21 - 1122

大運動会会場で記念撮影。後列にサングラスの怪しいハンターが。スペシャルハンターはどこに？



東北のこども応援 わんぱくプロジェクトin岩手(10月10日～12日・気仙) 気仙地協実行委員会が心温まる歓迎

絆と友情を深めた秋

長崎・佐賀の子どもたちが震災学習に来県、大船渡の子どもたちと再会

連合岩手と連合長崎・連合佐賀の子ども交流事業「東北の子ども応援 わんぱくプロジェクト in 岩手」が、10月10日～12日の3日間、大船渡市を主会場に実施されました。

運営・企画は気仙地協が担い、8月に長崎・佐賀で交流した子どもたちと、大船渡市の子ともたちが改めて絆と友情を深めあいました。

初日の10日は、昼前に長崎・佐賀の子どもたちが仙台空港に到着、途中、連合本部の神津里季生会長も合流し、バス移動で午後3時ごろに陸前高田に着きました。陸前高田では、道の駅「タピック45」跡を見学するとともに慰霊碑を参拝、その後、大船渡市「大船渡津波伝承館」に移動し、津波映像や館長さんのお話を聞いて防災を学びました。

宿泊先の「大船渡温泉」での夕食交流会では、あいにくの天気のため、予定していた「星空観望会」は室内での「星のソムリエ」による星の話に変更に

なりましたが、早朝からの移動にもかかわらず元気に初日を終わりました。

2日目は太平洋セメント工場見学、三陸鉄道レトロ列車乗車、碇石海岸散策の後、漁船に分乗して交流会場「ふれあいランド尾崎岬」近くの港に到着しました。港に着くと「打ち上げ花火」でサプライズの歓迎を受け、さらに会場では組織の組合旗や大船渡の子どもたちと保護者、実行委員の皆さんの盛大な出迎えの中で再会を果たしました。

再会後は気仙地協企画の「大運動会」やバーベキュー、似顔絵コーナーで盛り上がり、夕食交流後は、一緒に泊まった大船渡の子どもたちと交流を深めました。

最終日は、平泉を見学し、仙台から空路で九州に帰り、無事にプロジェクトは終了しました。

気仙地協実行委員会の心温まる企画により、思い出に残る3日間になりました。



太平洋セメント労組大船渡支部（千葉賢一支部長）の皆さんに工場を案内していただきました。



碓石海岸で神津会長と豊巻会長を囲んで記念撮影。あいにくの雨でしたが元気いっぱいです。



気仙地協実行委員会の計らいで、漁船に分乗して蛸の浦漁港へ。大漁旗に大よろこびです。



運動会の会場で気仙地協実行委員や子どもたちが出迎え。「再会」の文字が見えます。

わんぱくプロジェクトin気仙

【10月10日】

- 長崎・佐賀の子どもたち、長崎空港から空路で仙台空港に到着。朝5時30分集合でした。
- 道の駅「タピック45」跡で慰霊碑に参拝。「大船渡津波伝承館」では、「紙芝居」、津波映像や館長さんのお話を聞きました。
- 夕食交流会では、連合本部・神津会長と連合岩手・豊巻会長があいさつ、神津会長が強調していたのは「感じる力を大切に」でした。
- ホタテ貝に願い事を書き、星のソムリエによる星の話聞き、新鮮な海の幸を味わって、初日を終えました。

【10月11日】

- 6時30分起床、7時からラジオ体操。遠野弁でのラジオ体操は大うけでした。
- 太平洋セメント工場見学では、太平洋セメント労働組合大船渡支部の千葉支部長が先頭になって説明をしてくださいました。
- 盛駅から三陸鉄道「レトロ列車」に乗って恋し浜へ。レトロ列車ではおおはしゃぎ。恋し浜駅では前日に願い事を書いたホタテ貝をかけました。雨が強くなり、少し不安な顔も。
- 雨天のため、船による「碓石海岸アドベンチャー」は中止。それでも海岸の絶景に感激の子どもたちです。昼食の「昭和のカレー」は大人に好評でした。
- 漁船に乗って蛸の浦漁港へ。雨もあがり、花火や地元の人たちの大歓迎にびっくり。運動会場「ふれあいランド尾崎岬」では、組合旗による出迎えの中、大船渡の子どもたちと再会しました。青年委員会企画運営の運動会では、最後の種目「逃亡中」に現れた「白鳥スペシャルハンターU氏」と「U氏」製作の豪華な優勝メダルが話題を独占しました。
- バーベキューでは、さらに交流が深まり、「似顔絵コーナー」で子どもたち全員の似顔絵を描いてもらいました。似顔絵は全員にお土産としてプレゼントしました。

【10月12日】

- 岩手・長崎・佐賀の子どもたちで遠野弁ラジオ体操。早朝のラグビーの試合を観たという子どもはさすがに眠そうでした。
- ホテルの前で「お別れ会」。「また会おう」を約束してバスを見送りました。長崎・佐賀の子どもたちは平泉を見学し、仙台空港から九州へ。いい思い出をつくりました。

女性委員会・青年委員会 12月5日(土)に定期総会・学習会を開催

女性委員会は阿部陽子さんを講師に
「女性がもっと輝ける社会に向けて」
をテーマに講演を

連合岩手女性委員会は12月5日(土)午後2時40分から盛岡市「エスポワールいわて」で定期総会を開催します。

組織強化、女性リーダー育成、「第4次男女平等参画推進計画」の達成、学習活動の推進などを柱とした方針を議論するとともに役員改選などを行います。

今年度は初めての試みとして、総会の前に、午後1時20分から「女性がもっと輝ける社会に向けて」(仮題)と題した学習会を開催します。

講師は、「岩手の山150」などの著書があり、「盛岡タイムス」に「阿部陽子の里山スケッチ」を隔週掲載されている阿部陽子さんです。

女性が本当に「いきいき」と活躍できる社会をつくるために何をすべきかを皆さんで考えたいと思います。

女性組合員は総会とあわせて参加をお願いいたします。男性組合員もぜひ参加をお願いいたします。

青年委員会は組織内県議・
小西和子さん・軽石義則さんを招き
政治学習会を開催

連合岩手青年委員会も12月5日(土)午後3時から「エスポワールいわて」で定期総会を開催します。

青年委員会は、連合岩手組織内議員との対話を中心に、総会前に午前11時から「政治学習会」を開催します。

「政治学習会」には、小西和子県議(岩教組出身)と軽石義則県議(電力総連出身)を招き、両県議からの自己紹介とミニ講演をいただいたあとに、昼食をとりながら少人数による分科会「子育てしやすい社会づくりに向けて」(小西県議)、「人口減少社会解決に向け青年の力を」(軽石県議)に分かれて参加者と県議との対話交流を深めます。

また、豊巻会長による基調講演も予定されています。

政治をより身近にし、さらに組織の枠を超えた交流を目的とした堅苦しくない学習会です。ぜひ、多数の青年組合員の参加をお願いいたします



東北ろうきん
ウインターキャンペーン
2015

キャンペーン期間
2015年
11/1(日) ▶ 12/31(木)

店頭表示金利に金利上乗せ
年0.10%

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

下記対象取引のいずれかをご契約・お申込みいただいた方に、**もれなく**
つや姫(無洗米)300gをプレゼント!

- ①定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書付)
- ②積立型預金(財形・エース預金)の年額積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約
- ③マイプランの新規ご契約
- ④無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約
- ⑤住宅ローンの新規お申込み

※ATMやろうきんダイレクトでの取引も対象となります。(店舗でのお申し込みが必要となります。)
※キャンペーンのプレゼントは、個人のお名前で対象となります。
※つや姫のプレゼントは「お取引項目につきお一人様1つ」となります。
※「特別金利定期預金」はプレゼントの対象外となります。
※対象の必須要素については、店舗に説明書をご用意しております。
※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。

ろうきんで
特別な冬にしよう。

東北労働金庫  0120-1919-62
平日午前9時～午後5時